

中海スポーツパークの魅力向上に向けた 現地説明会及びヒアリング調査(意見交換)について

事業概要書

松江市政策部地域政策課

現地説明会及びヒアリング調査(意見交換)の目的

- ◆ 松江市上宇部尾町に、誰もがスポーツに親しめる場所として「中海スポーツパーク」を整備し、令和7年11月29日にオープンしました。
- ◆ 中海スポーツパークの周辺には約2.2haの未利用地と、中海振興多目的施設があります。この多目的施設は、野鳥観察やサイクリング等の休憩所、船舶も利用可能な栈橋、マリンスポーツに活用可能な斜路を備えています。中海スポーツパークとこれらの施設を一体的に活用することで、さらに魅力的な施設とするため検討を進めています。
- ◆ 検討にあたり、昨年11月に大学教授、経済・子育て団体、一般市民による公募委員などで構成される「中海スポーツパーク魅力向上検討会議」を立ち上げました。本検討会議では、これまで3回の会議を実施しており、本年12月に開催予定の第4回検討会議において、エリアコンセプトを策定することとしています。
- ◆ 今回の現地説明会及びヒアリング調査(意見交換)は、より魅力的な施設を目指すにあたり、民間事業者の皆様と意見交換の場を設けるものです。整備内容のアイデア、実現に向けた望ましい連携のあり方、課題などを広くお聞きし、今後の事業の方向性を決めるための一助とすることを目的に実施するものです。

松江市の概況



【面積】 573km²(東西41km・南北31km)

【人口】 191,403人(2026年3月末:住民基本台帳)

【地形】 日本海・穴道湖・中海など多様な水域に囲まれた「水の都」

穴道湖・中海はラムサール条約湿地に登録(2005年)

風光明媚な自然と出雲国風土記が息づく歴史・文化が「島根半島・穴道湖中海ジオパーク」に指定(2017年)

【特性】 古代より山陰の政治・経済の中心、県庁所在地

1951年:「国際文化観光都市」に指定 (松江国際文化観光都市建設法、同都市指定はほかに京都市・奈良市)

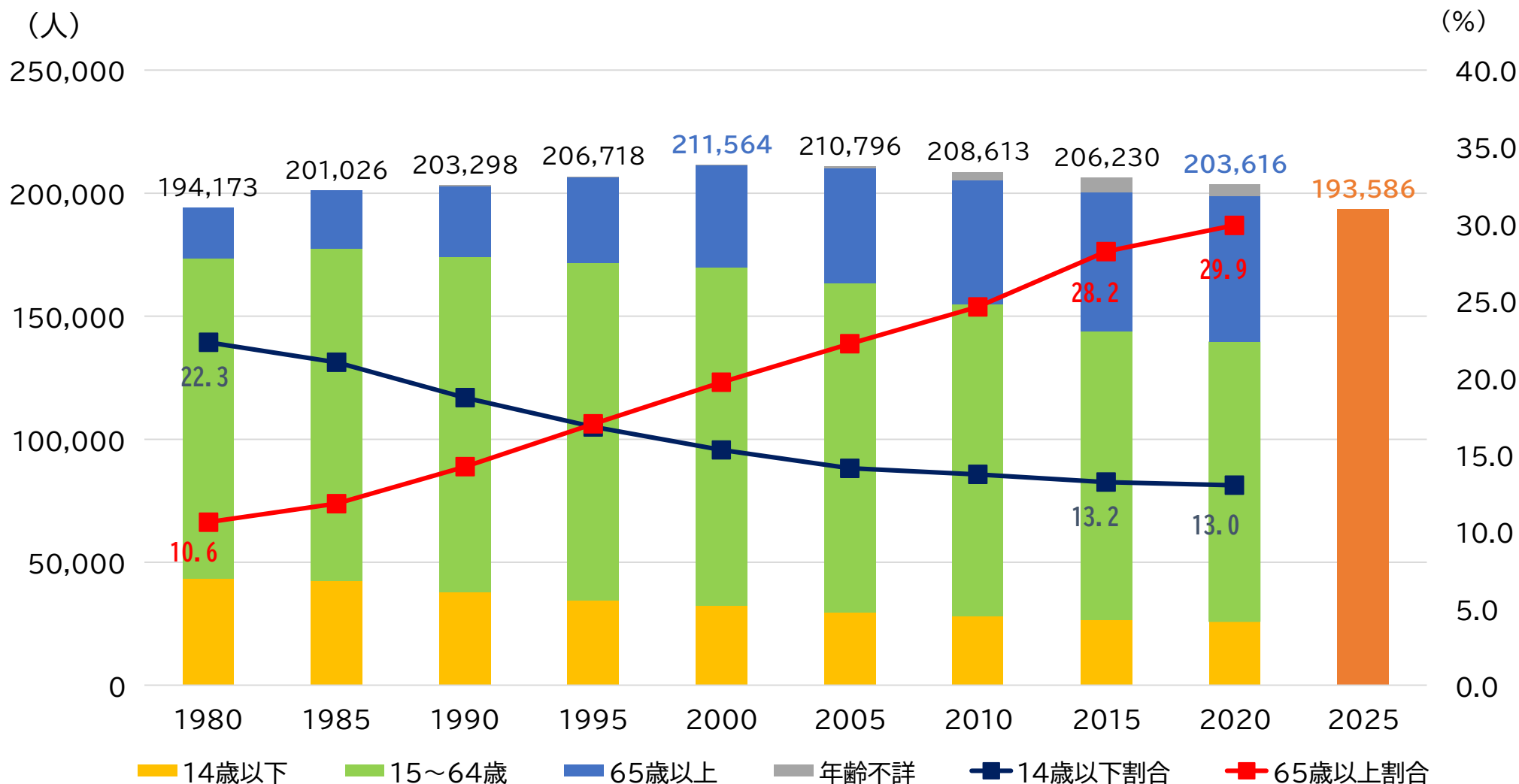
2015年:松江城天守が国宝に指定

2018年:中核市に移行

松江市の持つ魅力

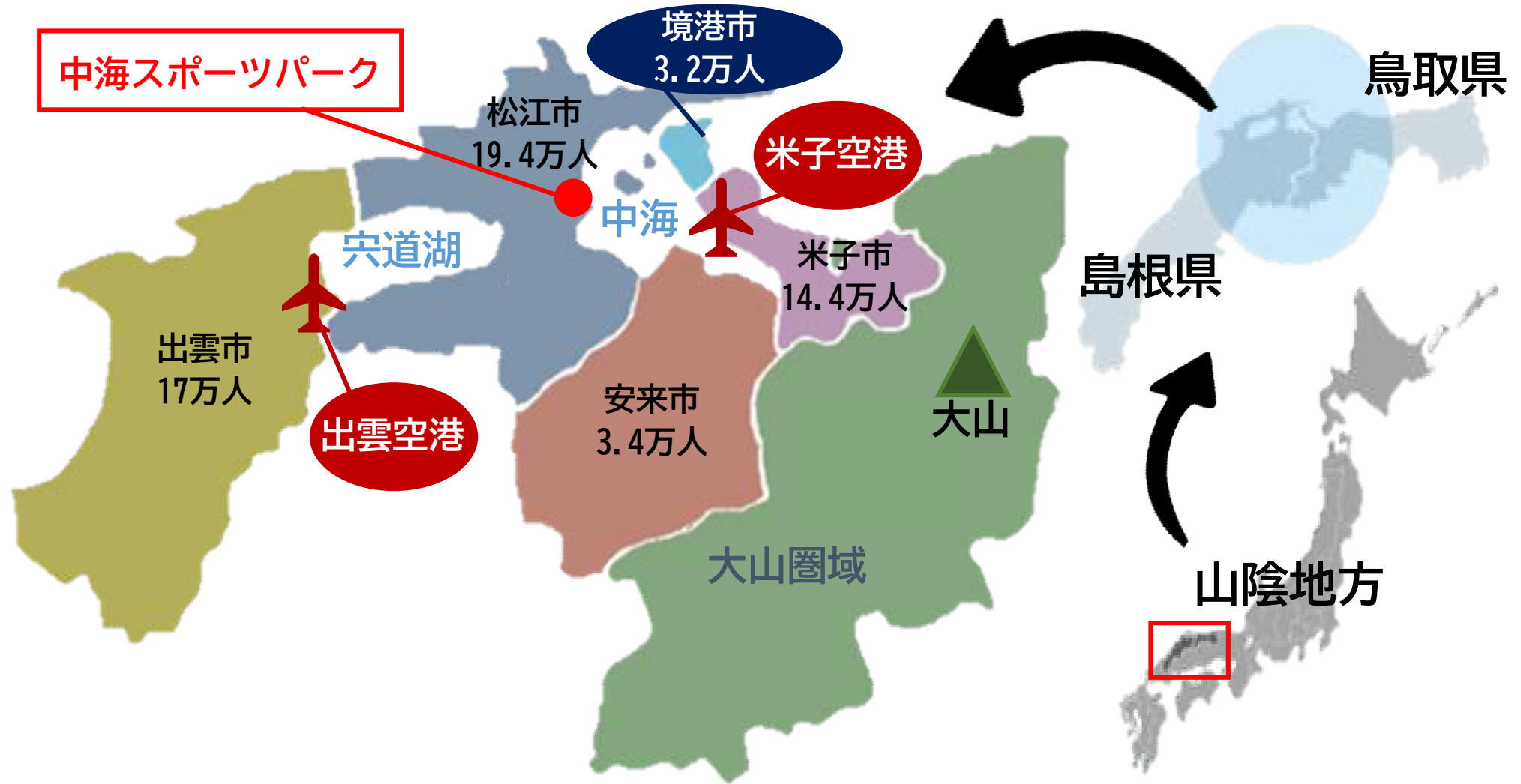


松江市の人口推移(R7年国勢調査速報値:R7年10月1日時点)



- ◇ 1995(平成7)年から14歳以下と65歳以上が逆転し、総人口は2000(平成12)年をピークに減少
- ◇ 2025(令和7)年国勢調査から総人口20万人を切ることとなった

中海圏域の人口(R7年国勢調査速報値:R7年10月1日時点)

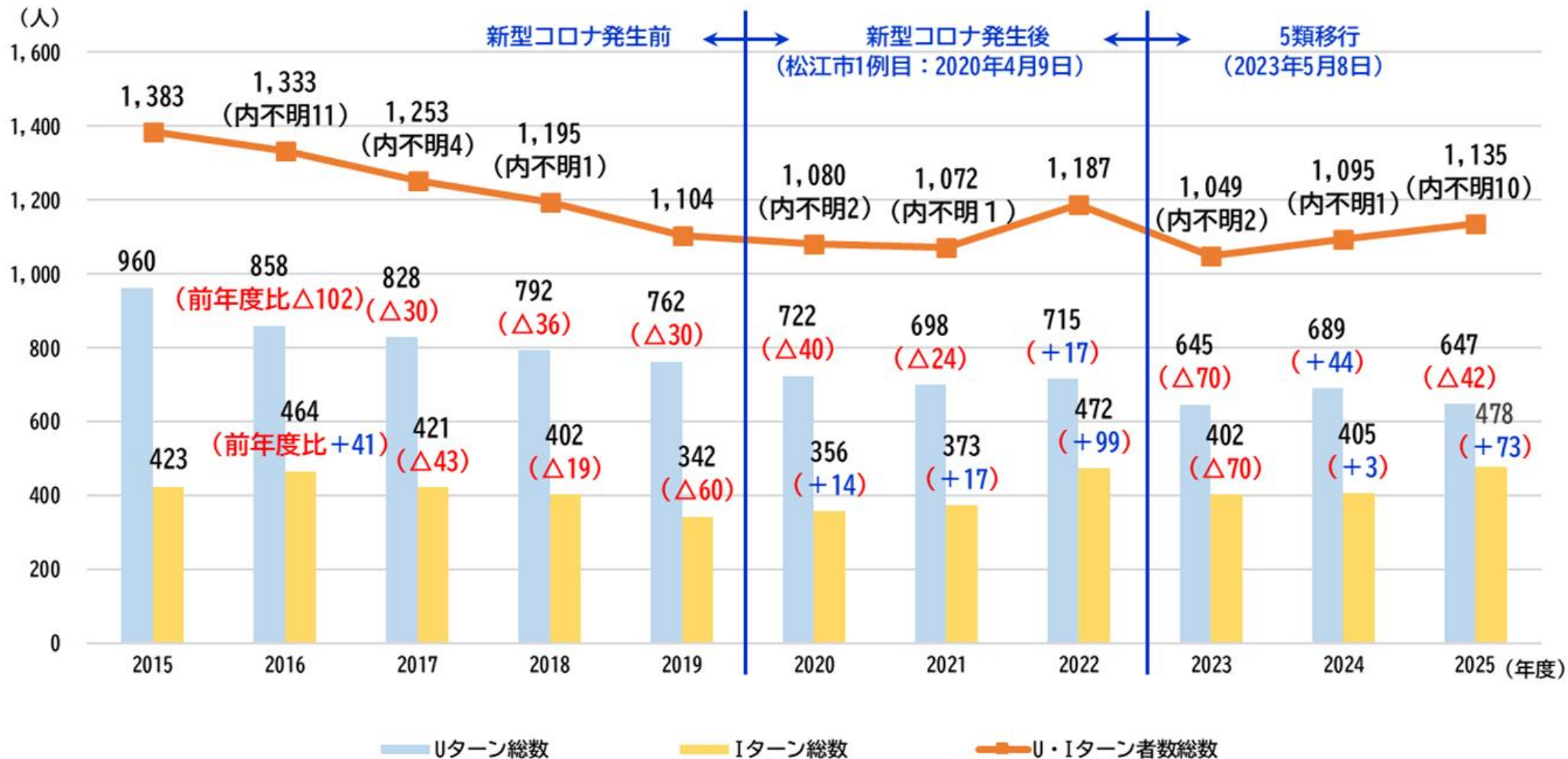


◇ 中海圏域の人口57.4万人(※日本海沿いでは、新潟都市圏、金沢都市圏に続いて、3番目の人口規模)

◇ 中海圏域内には出雲空港(約40分)、米子空港(約25分)がある。

- ・出雲空港: JAL(東京5往復、伊丹4往復、福岡2往復、隠岐1往復)、FDA(静岡1往復、小牧2～3往復、中部1往復)
- ・米子空港: ANA(東京6往復)AIR SEOUL(ソウル便(月水金日のみ1往復))、tigerair(台北(月金のみ1往復))

松江市のU・Iターン者の推移



出典：島根県人口移動調査、市定住企業立地推進課提供資料

◇ U・Iターン総数は2024(令和6)年に比べ、30人増の1,125人

◇ Iターン者数は2024(令和6)年に比べ73人増の478人となり2015(平成27)年以降で最多となった

中海スポーツパーク位置図



- ◇ 松江市街地や中海沿岸地域の交通拠点から概ね20分で到着できる距離にある。
- ◇ 上宇部尾町は人口約60人、高齢化率約60%を越え、過疎化が進む地域となっている。

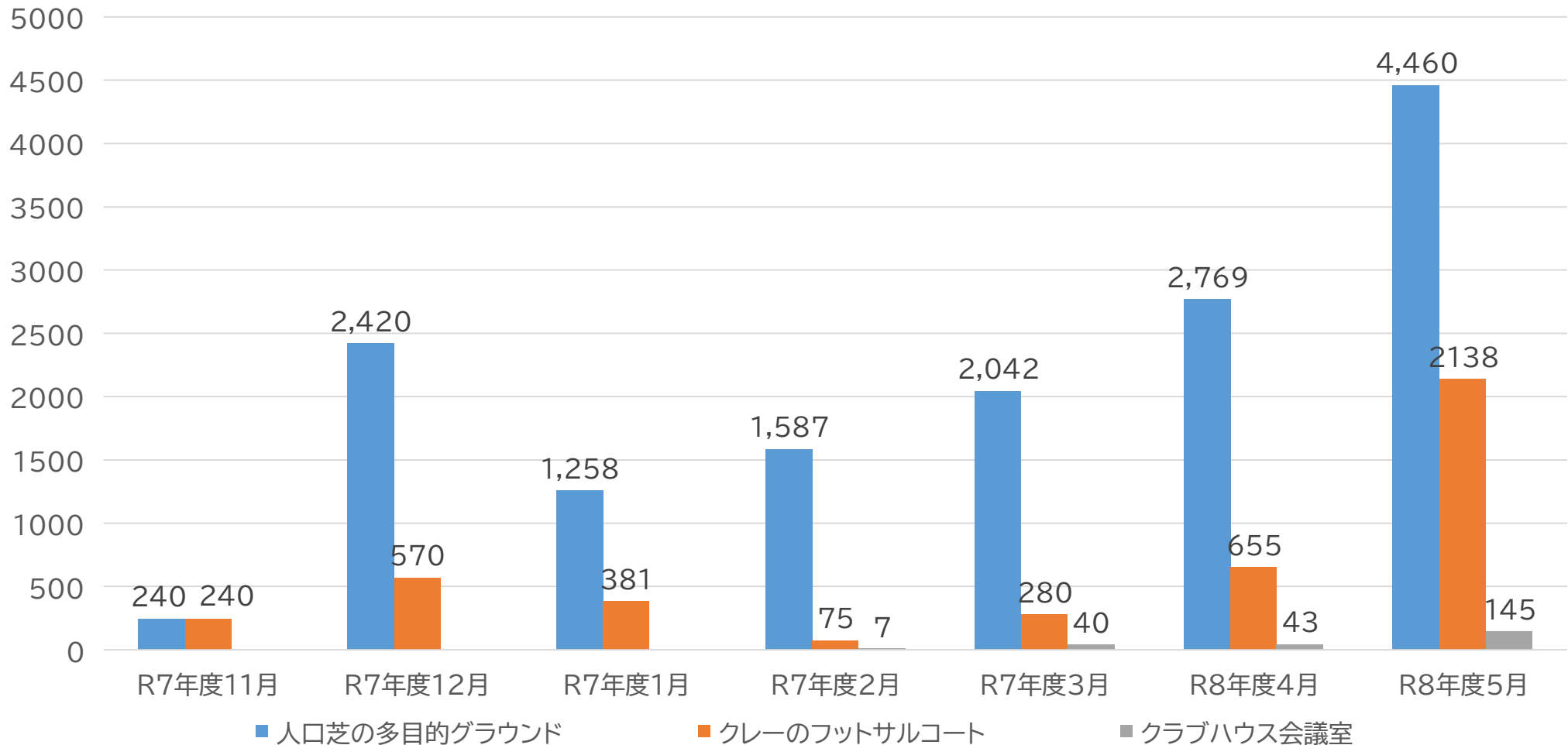
中海スポーツパーク現況写真

令和7年10月3日竣工時撮影



中海スポーツパークの利用状況

単位(人)



- ◇ 利用者数は5月末までで、延べ19,350人に利用されている。
- ◇ 利用の種別としては、サッカー、ラグビー、グラウンドゴルフであり、多くはサッカーとなっている。
- ◇ 利用者の属性としては小学生から社会人まで幅広く利用されている。

立地状況について(高速道路)



◇ 最寄りのICは西尾インターであり、中海スポーツパークまで7分程度となっている。

立地状況について(交通量)



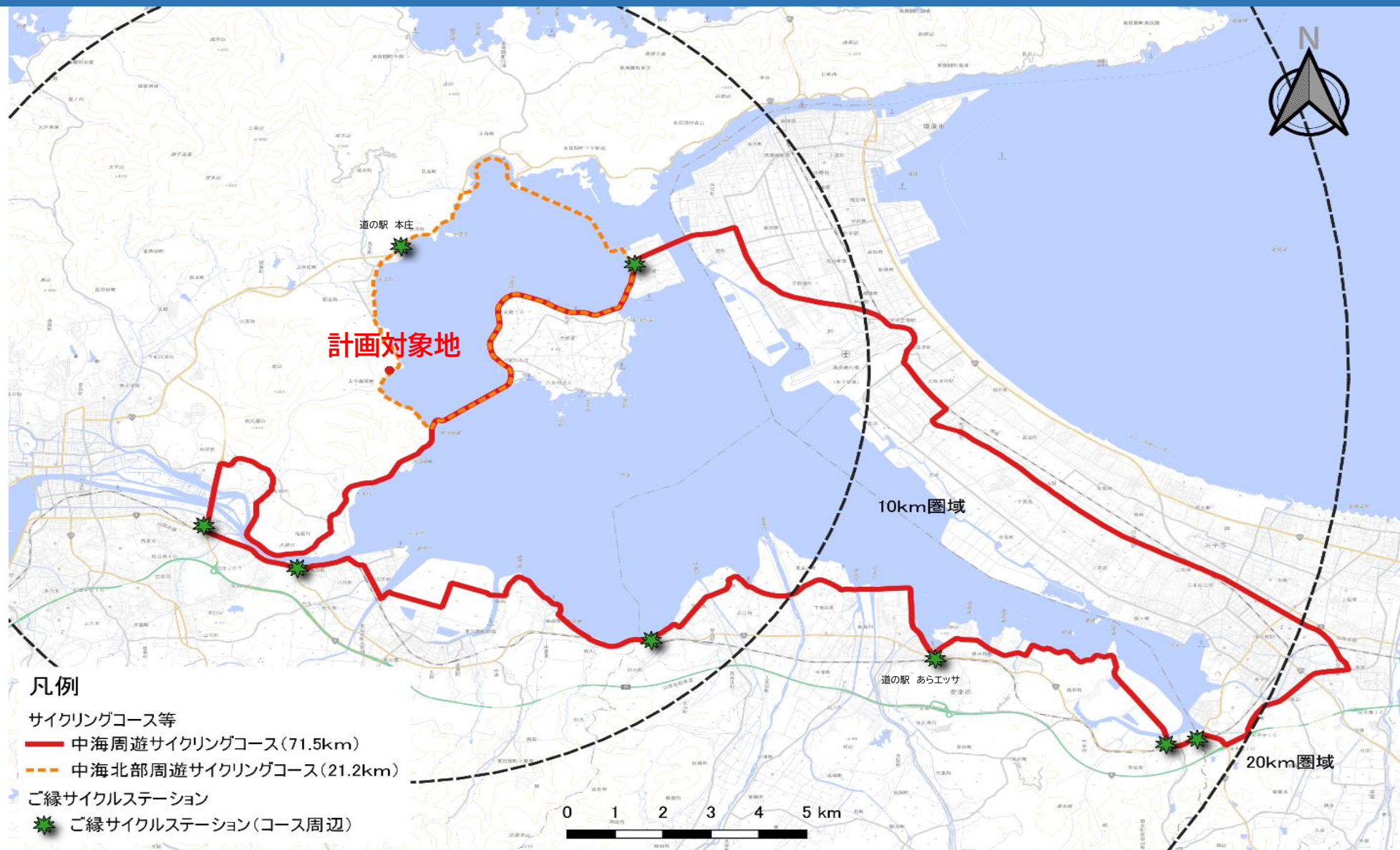
◇ 中海スポーツパーク前面道路の本庄福富松江線の交通量は周辺的美保関八束松江線の半分以下の交通量になっている。

立地状況について(公共交通)



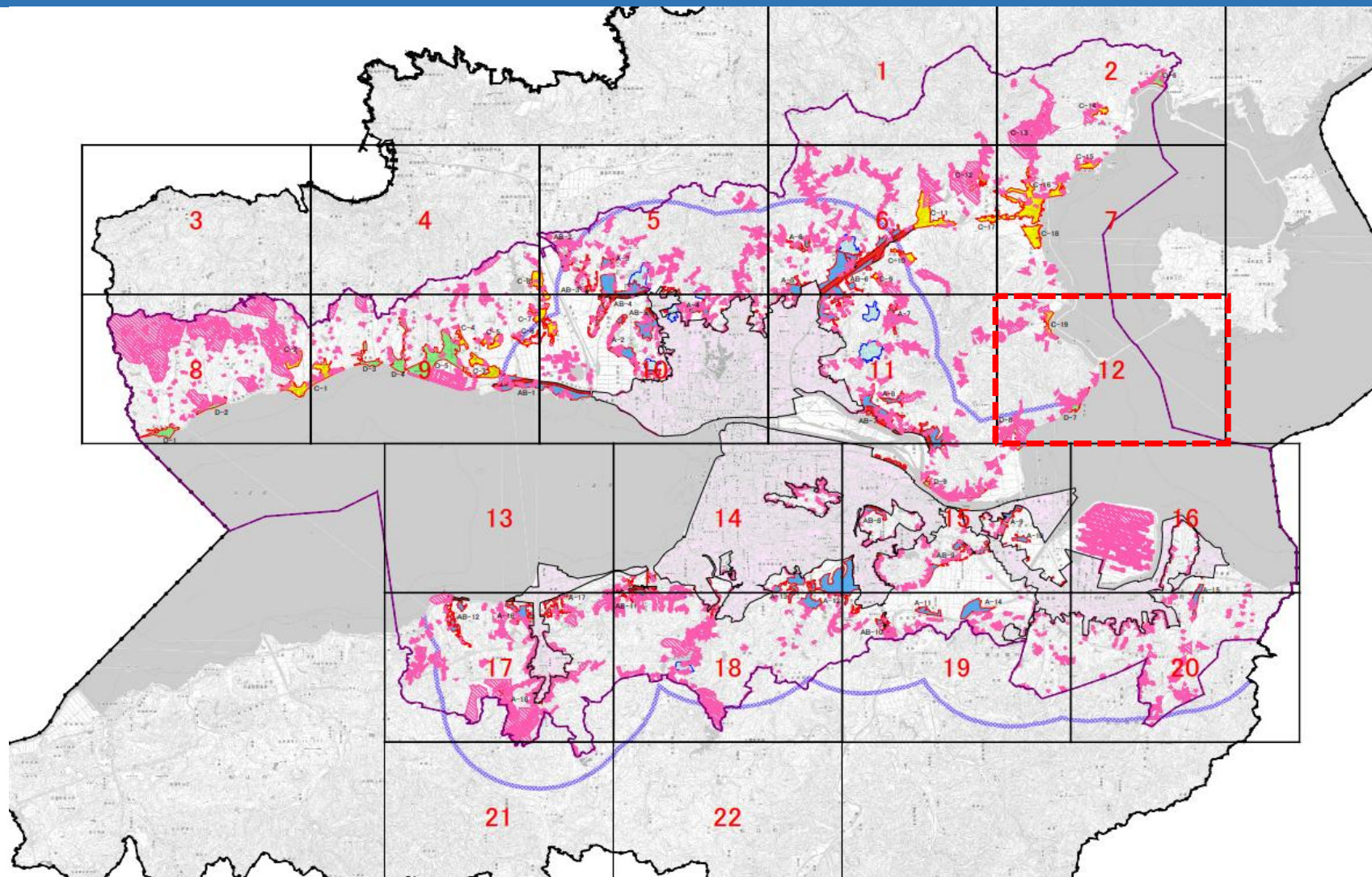
- ◇ 中海スポーツパークの前面道路を通過するバスは、コミュニティバスのみ(上下各1便)であり、日曜日・祝日は運休している。
- ◇ 上宇部尾町からの市営バスは1日、松江駅方面が1便(土日祝日運休)、上宇部尾町経由八束町一周便が1便であり、現状では公共交通機関のアクセスは良くない環境にある。

立地状況について(サイクリングコース)

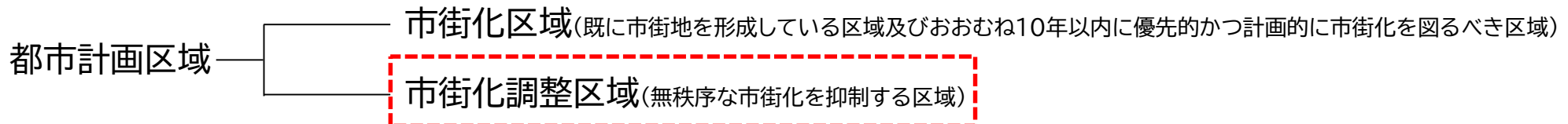


◇ 中海周辺地域は2つのサイクリングコースが設定されており、そのうち中海北部周遊サイクリングコースは、「松江市中海振興多目的施設」が発着場となっている。

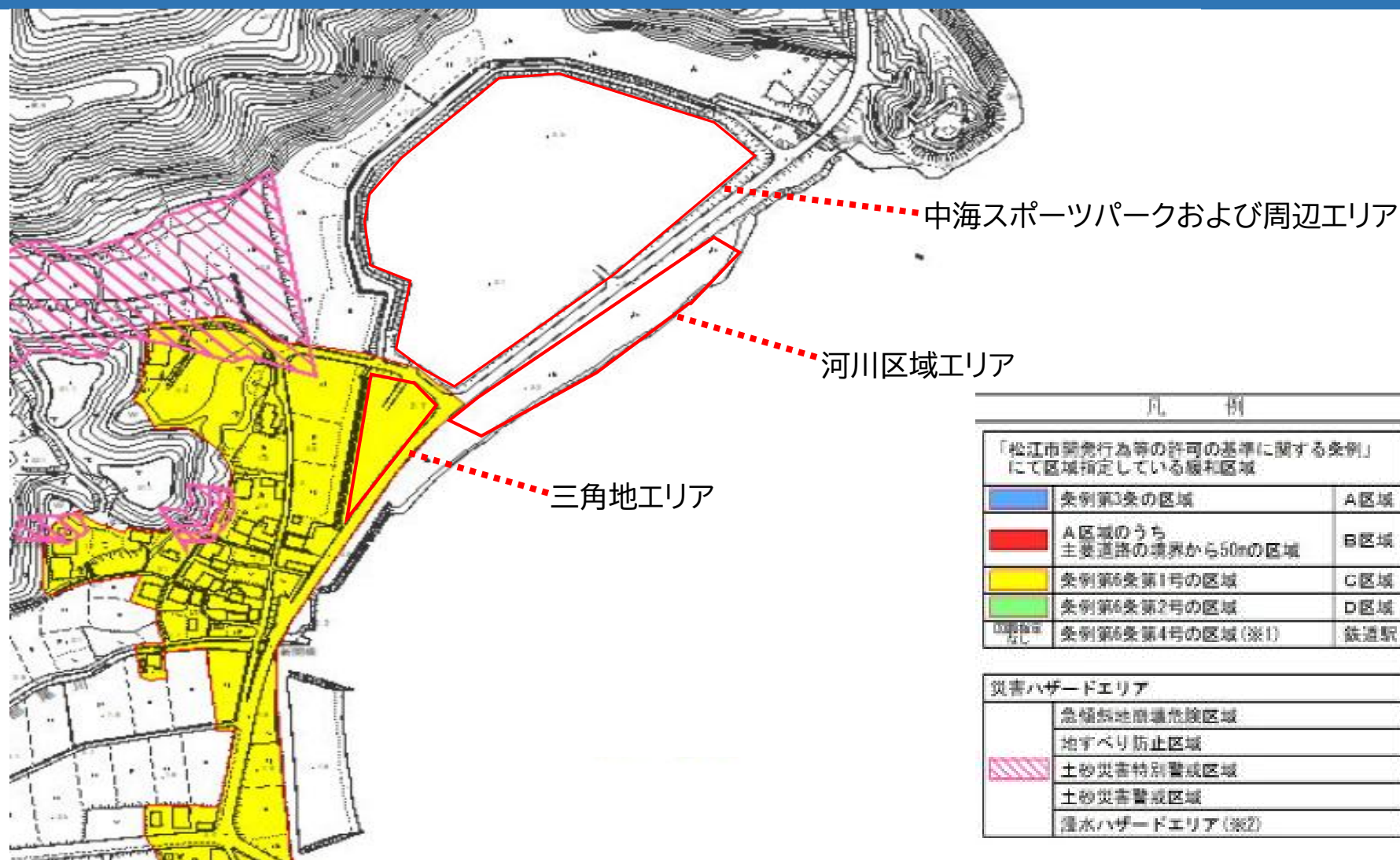
法令に基づく利用用途の制限について(都市計画法)



◇ 中海スポーツパークは都市計画区域内にあり、市街化調整区域として区分がされている。



法令に基づく利用用途の制限について(都市計画法)



- ◇ 中海スポーツパークおよび周辺エリア、河川区域エリアは白地地域となっており、建築物を建てる場合には調整が必要となる。
- ◇ 三角地エリアは市街化調整区域の中でも緩和区域となっており、建築物を建てることのできるものの、用途や土地・建築物の規模等で規制をされている。

法令に基づく利用用途の制限について(河川法)

占用および工作物の設置について

- ◇ 県道から南側は河川区域になっており、土地を占有する場合は河川法24条、工作物の新築等の場合は26条の許可申請が国土交通省出雲河川事務所へ必要となる。
- ⇒ 中海振興多目的施設の斜路、保安検査施設、浮棧橋については河川区域内を占用し、構造物を設置することから、国土交通省出雲河川事務所へ申請を行い許可を受けている。



河川のオープン化について

- ◇ 河川敷地において民間事業者が営利活動を行う場合には、河川空間のオープン化の手続きが必要となる。オープン化の手続きには1年以上かかることが想定され、地域住民の合意形成も必要となる。ただし、イベントのような単発的な案件については不要となっている。

<参考> 松江市内では、岸公園と白湊公園の河川敷地について、令和6年度に河川のオープン化を行っている。



- ・河川空間での民間事業者による商業利用が可能となり、多様なニーズに応える
- ・国の河川地域、松江市の公園区域それぞれへの申請が松江市に一本化

☆利用しやすい環境を整え、これまで以上の賑わい創出を図る

